

さんかく



2011 はる・なつ号

センター便り「さんかく」は、この便りが
“市民”と“センター”と“地域”をつなぐものとなるように…
そんな思いを込め、3つをつないだトライアングル(三角形)と
“男女共同参画”の「参画」を表しています。



contents

- “イクメン” から “ケアメン” へ…!
～育児に関わると
介護にも抵抗少なく入れます～
- さんかくのつぶやき
- 女性相談
- 図書案内



information

平成23年度 講演会
デートDVと恋愛

講師: 上村 茂仁さん
(ウィメンズクリニック・かみむら)

日時: 6月26日(日) 14:30~16:30

場所: うるおい交流館エクラホール

入場料: 無料

※ お申込みは事務局まで

“イクメン”から“ケアメン”へ…!

～育児に関わると介護にも抵抗少なく入れます～

最近では「イクメン」（＝育児に取り組む男性）という言葉もかなり浸透してきました。育児に関わっている男性が、以前よりも増えてきたということですね。また、介護に取り組む男性を「ケアメン」と呼ぶそうです。かつて、男性は仕事一筋とされていたが、家事全般に関わる男性も少しずつ増えています。育児や介護を通して、人を世話することで、多くの学びや気づきがあります。何よりも、男性自身の生き方もラクになるはず。これからの男性は、育児も介護も積極的に、取り組む時代になってきたのでは？

子育ても家事も、妻に任せっきりの夫。ある日、こんな会話が…

「〇〇さんのお母さんが入院されて、お父さん大変らしいよ。」

「うちの親はまだまだ元気だし関係ないね。何かあっても、おねえちゃんがいるから、まかせておけばいいよ。」

「それじゃ、もし私が入院したらどうするの？」

「えっ！ほんとだ！どうしよう～」

「その日のためにも、今から育児も家事も協力し合おうね。」

『介護』についてどう思っていますか？

- ・ 少子高齢化社会なので、家族だけでは無理。社会全体で考えるべきだ。
- ・ 姉に任せておけばよい。お金で援助したい。
- ・ しなければならないことは分かっているけど、具体的なことは考えていない。
- ・ 娘の世話になりたくない。他人の方が気がラク。
- ・ 妻がしてくれると信じている。
- ・ 介助の体験をしてみて、妻のありがたみがわかった。

男性に聞いてみました



育児も介護も、経験がなければ不安に感じるのは当然です。どちらも一人でやらなければならないと思ってしまったら大変です。みんなで助け合い、分かち合えればいいですね。そのためにも、普段から育児、家事、介護に関心を持って、誰もが関わっていることが大切です。

『介護』に関する相談は → 地域包括支援センター（☎ 63-2174）まで。

ともに介護の仕事に携わり、育児に対してもお互いが協力しながら関わっているというご夫妻にお話を伺ってみました。



介護⇒育児を経験して

20代の主婦です。出産まで5年ほど老人介護の仕事をしていました。仕事内容は、生活に関わる介助全般で、体力を必要とされる事が多いです。特に夏の入浴介助は手早く行わないと、高齢者・介助者共に脱水症状を起こす可能性があります。これは子育てにおいても同じです。便秘だと食欲が低下して栄養不足になりがちになることはわかっていたので、水分補給や排便の確認には気を配っています。

高齢者・子ども、どちらも自分で意思を伝えることが難しいので、周りの人間が身体の怪我や普段の様子との違いを気づいてあげないといけないですね。

夫も老人介護の仕事をしているので、息子のオムツ換えを、抵抗なくしてくれます。また、子どものお風呂等も時間があれば、自分から進んで入れています。夫は「自分の子どもだから何でも参加したい」との思いで、子育てにも意欲的に取り組んでいます。そして、親の介護についても夫婦でよく話し合います。「子育ても一人でするものじゃないけど、介護も一人でするものじゃない。自分の子どもでも、一人で育てるのはストレスが溜まるから、家族の協力は必要。仕事と一緒に役割分担したらいいと思う」と言っていました。

ほう・れん・そう（報告・連絡・相談）は、仕事でも家庭でも大切なことだと思います。

さんかくのつぶやき

休日も仕事で忙しい夫は、息子と過ごす時間が少ないので、できるだけ一緒に遊ぼうとしてくれている姿は嬉しく思います。が、いつも気になるのは帰宅してすぐにマンガを読み始め、こっちが話しかけても（その日の育児の話とか、あったことを）聞いてくれないときは少々腹がたちます。（電車大好き）

ここ数ヶ月、トイレに興味があるうちの2歳の娘は、私がトイレに行く時、どれだけそーっとわかるといって行ってもついてきます。ドアをどんどんして「あけて～」と叫びます。トイレぐらいいやくくりしたいよー。（えみちゃんママ）

さんかくのつぶやき募集

どうぞ皆さんお好きなことを100文字以内でつぶやいてください。採用者には…
エクラ内 喫茶「CAFÉ DE ARCHE」
コーヒーペアチケットをプレゼント!!

提出先

小野市男女共同参画センター 事務局
小野市中島町72番地 小野市うるおい交流館エクラにあります。
TEL: 0794-62-6765 FAX: 0794-62-2400
Eメール: danjo@ksks-arche.jp
FAX・メール（件名『つぶやき』入力必須）
または窓口までお持ちください。



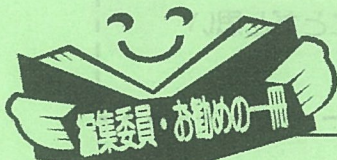
頼もしいイクメン？



あしらい カモ...



by あっちゃん



貸出しも行っていきます。事務局までお気軽に、お問合せください。

恋するきみたちへ、ちっちゃい先生からのメッセージ!

6/26 講演会講師

上村 茂仁 著
ふくろう出版 発行



10代の女の子、男の子、親たちの性に関するホンネが綴られており、彼らの相談に産婦人科専門医が答えます。

恋する若者にとって性について正しい知識を持つことはとても大切なことです。ステキな恋をするために、人生がもっと幸せになるために... 子どもにも大人にも読んでほしい一冊です。

もっちゃん

チャレンジひろばのご案内

「もう一度働きたい」「起業をしたい」「新しく何かを始めたい」など、女性のための再就職や在宅ワークなど、再チャレンジへの情報提供を行なっている「チャレンジひろば」は、エクラの南側入り口横にスペースを設け、女性のチャレンジを応援しています。再就職・再チャレンジに興味のある方は、お気軽にご利用ください。何かをはじめるヒントがココにあるかも...!

☎0794-62-6765



女性のための相談のご案内

あなたがあなたらしく、いきいきと毎日を過ごせるよう、女性の相談員(市外在住)が、自立に向けての心のケアをお手伝いします。ひとりで悩まず、まずお電話ください。

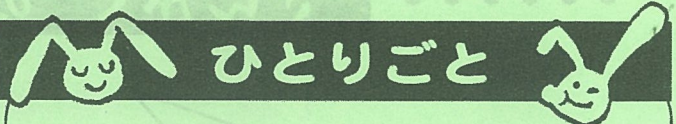
相談(無料)は毎週木曜日 秘密厳守

☎0794-63-8250 (相談専用)

- 電話相談: 9:30~11:30(随時)
- 面接相談: 13:00~16:00(要予約)
- 予約受付: 相談専用番号にお電話ください
- 場所: エクラ相談室

※予約受付時間は毎日9:00~20:00

休み: 毎月第4火曜日(祝日と重なる場合は翌日)・年末年始



3月11日に発生した東日本大震災の被害があまりにも甚大で愕然としました。多くの尊い人命を失い、街や工場、港、交通機関が破壊され、経済も低迷。原発事故も重なり、周辺の避難家族のご苦労は計りしれません。しかし、全国あるいは世界からの支援が拡大する中、東北人持ち前の根気と日本の底力を一致団結して、一日も早い被災地の復興を祈るばかりです。

千ユウ

- 企画・編集 「はーと・シップ編集委員会」
- 発行 小野市
- 事務局 小野市男女共同参画センター(NPO法人 北播磨市民活動支援センター)
〒675-1366 兵庫県小野市中島町72番地 小野市うらおい交流館エクラ内
TEL 0794-62-6765 FAX 0794-62-2400 E-MAIL danjo@ksks-arche.jp